

発行所 大熊町公民館
電話(大野)65番
編集責任者 吉田農夫雄
印刷所 加納活版所
電話平(4)2409番

おおくま

◎乾燥する季節です。火の元に注意しましょう。
◎忙しくなって参ります健康に注意して働くことにしましょう。
◎幼稚園、保育所、小学一年生に対しては特に交通事故から守りましょう。

=躍動と前進のために=

新らしい農政

魅力ある農業を!

昔から「百姓百品」といわれ何でもつくらなければならぬという考えの人が多い。
これに無駄があり農家経済を窮乏にしている原因がある。これを是正する意味で農業生産の選択的拡大と生産地の形成をはかることが先ず第一でありそれを前提として土地基盤の整備が行われなければならない。
このように近代農業の導入も可能となり余剰労働を生み出すことも農業の構造を改善してゆくことができるのである。
このように合理的な流通を図らなければならぬ。然しこれは隣接町村或は郡内の町村と連繫をとりながら行われなければならない。

魅力ある農業、それが出来たとしても後継者がなくては農村はさびれていくばかりであり農業後継者の養成とわれわれをとりまく生活環境の整備もまた急がなければならぬ。
そこで町は今後の五つの柱を中心に農政を展開してゆく考えである。
1 農業生産の選択的拡大と生産地の形成
2 農業技術の高度化と生産基盤の整備
3 農家の構造改善
4 農畜産物流通機構の整備
5 農業後継者の育成と生活環境の整備
尚これに付随して生れてくる農業金融の問題、農業団体の整備統合も併せて考えてゆかなければならぬ。
産業課長 町富岡町にそして浪江町にも

ビジョンと

企画的な行政の欲求

住民全般のための政策

日本における文化への夜明けは明治に始まり、その歴史は本年で一世紀を数える。
幾多の建設と破壊とが繰返され漸くして平和をつかんだ日本ではあるが、世界全体の姿を見つめるとき、これとて果して何時迄続くのか不安でない。しかし取越苦労をしても始まらない。現実をじつと見つめ将来への足かかりと努力を現在に続けて行かななくてはならない。
大熊町に第三の火がともるというところで、一躍時代の脚光を浴びたこの町ではあったが、文化の進展と技術の革新は昭和五十五年迄に、日本全土に一億キロワットの発電を要求し又もたらそうとしていく。これに対応する如く、隣町富岡町にそして浪江町にも

水道 本年中に給水開始

昨年より皆様の御協力によって進めて参りました水道事業もお蔭様にて順調に工事が進み、既に水源池の取水施設(井戸工事)も終り、目下送水ポンプ室を建設中であります。

3月末迄には機械の据付をいたし試運転の結果を見て、4月下旬より熊町地区から逐次送水いたし、本年中には計画全区域に給水するよう工事を急いでおります。

各家庭でこの水道を御利用いただきますためには、給水装置の工事費の負担額、給水申請手続等につきまして近日中に説明会を開催いたすこととしております。

説明会の日程等につきましては区長さんを通じお知らせいたしますのでその節は必ず御出席下さいませようお願いいたします。

昭和四十三年度 春季農作業

- ◆耕耘 一五〇〇円 一〇ア
◆植代 一五〇〇円 一〇ア
◆田植 三〇〇〇円 一〇ア
◆一般作業 八〇〇円 日当
◆田植 一〇〇〇円 日当

棄権防止



福島県知事選挙は三月三十一日に告示され、四月二十五日に投票が行われます。
向う四年間の県政執行者を決める大事な選挙です。
おたがいに、絶対に棄権せず、清く正しい投票を実施して私達の意志を県政に反映しましょう。
町内各投票所の前回の成績は次の通りです。前回の成績を大きく上廻るようにお互いに努力しましょう。

Table with 2 columns: 郡平均, 計. Rows include 1 (中屋敷) 八七・二五%, 2 (大野小) 七八・三%, etc.

中学校統合について

大熊町教育長 吉田正雄

大野中学校と熊町中学校を統合することの是非については、昭和四十年に、合併前の熊町地区の方々から御意見を詳細に述べていただきました。
が、当時の意見としては、「現在の熊町中学校に統合することは反対である」という声の一部にあり、統合の時期ではないとの結論によって現在に至りました。
しかし近年人口が少くなり、これに伴って中学校の生徒数も毎年減少し、現在大野中学校の生徒数は二九六名(学級数九)、熊町中学校の生徒数は二八六名(学級数八)という小規模な学校になっております。申すまでもなく、中学校における教育は小学校とは全く異なり、一つの教科目には専門的な免許を持つ一人の担任教師を必要とする教育方法でありますので、中学校の必修科目だけでも相当数の教師が必要であり、更に選択科目を加えますと、より多くの教師が必要となります。
しかし小規模な現在の熊町の各中学校では、教職員の定数という教師の数の制限のために、思う様に専門的な教師を得ることが困難で、子供の学習にも大きな影響が及ぶ将来が心配されます。又教育施設や学校の経営費の面でも二校に分けて使うという結果も出てまいりました。
果から、十分な効果は上からず、学力向上のためにも一校にすべきたという結論が、国や県でも中学校の統合を真剣に考えているのです。
私が本年の成人式に列席して特に感じました一つに、同じ町内の若い方々が一堂に会し、中学校の同窓でないために、顔も知らず話すことすらせず、何かしら都会の奇り合い世帯に似た白々しい空気の流れがございました。
これを何とかして、将来の発展を期し、住みよい健康な町造りをなされたい、この大熊町において、先ず人間形成の基盤である教育の姿を、今にして何とか改革しておかなくてはと心を痛めているのです。
私は町民の方々の御意見を尊重し乍ら、次のような構想の中で、今後の教育の一大方針を打出したいと考えております。数多くの御批判と御支援を期待いたします。
一、統合校舎は新しく敷地を選定して、耐火構造の地域環境に即したものとしたい。
一、校舎の敷地は、町の開発のためにつながらる位置に選定したい。
一、国の目標とする適正規模(十八学級以上)の学校としたい。
一、教育施設の整備を図り、その他の話し合いがあった。
☆四月月上旬区長会を開くこと。
☆大野西側の防火用水池をつくること。
☆防犯灯には補助を出すこと。
☆大野西側の防火用水池をつくること。
☆四月月上旬区長会を開くこと。
その他の話し合いがあった。
☆四月月上旬区長会を開くこと。
☆大野西側の防火用水池をつくること。
☆防犯灯には補助を出すこと。
☆大野西側の防火用水池をつくること。
☆四月月上旬区長会を開くこと。

交通事故にあつたら
もしも交通事故にあつたら、ひかれ損々にならないように、これだけは覚えておいて下さい。
・車輪番号を絶対に覚えておく
・目撃者をさがす
・被害者が被扶養者でも、権利がある

より良い環境の中での人造りをしたい。
一、この構想実現の目標を、昭和四十六年度としたい。
引揚者特別交付金の請求はお早めに
引揚者特別交付金の請求は、昨年十月から受付をはじめ、現在までに七十六件を交付済みです。
ところで町内の引揚者交付金請求件数は約百五十と推定されていますので、まだ請求をされていない方は早急に請求書を提出してください。
なを請求手続は面倒ですので、役場住民課へお出での上、説明を受けてください。
昭和四十二年度 最後の区長会
三月三十日午前十時三十分より、昭和四十二年最後の区長会が大熊町公民館に於て開かれた。役場より町長、総務課長、住民課長が出席した。来年は多数の区長の更迭があるやに見受けられた。
☆来年度は若い用務員を採用したので毎週火と木の二日回らんを区長に届けること
☆自衛隊隊員に協力してもらいたいこと。
☆来月の知事選挙の際棄権防止に協力してもらいたいこと。
☆防犯灯には補助を出すこと
☆大野西側の防火用水池をつくること。
☆四月月上旬区長会を開くこと。
その他の話し合いがあった。
☆四月月上旬区長会を開くこと。
☆大野西側の防火用水池をつくること。
☆防犯灯には補助を出すこと。
☆大野西側の防火用水池をつくること。
☆四月月上旬区長会を開くこと。

第二年度

大熊町若妻学級

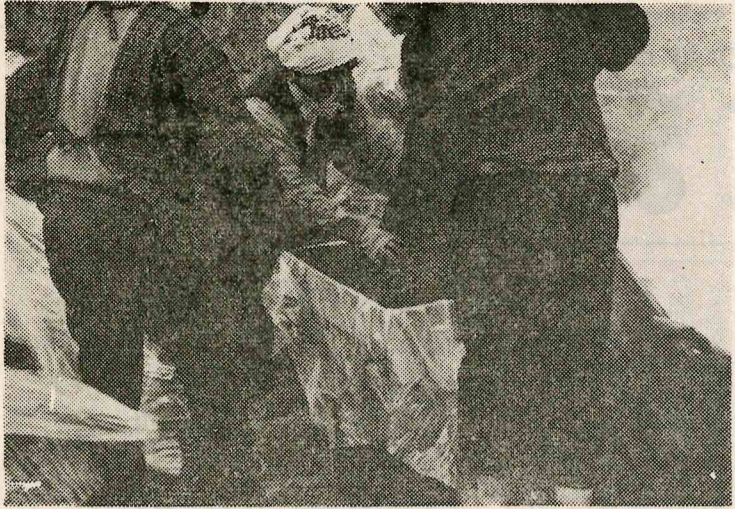
四月八日に閉・開講式を実施

文部省委嘱大熊町若妻学級 省、第二年度学習内容の検討は、農繁期を前にして来る四月八日、第一年度の終了式を...

ナメコ栽培の本格化

若妻学級記録から

ナメコ、ひらたけなどのオトクラブを作って協同栽培に入り西弥生さん宅の庭先...



米作りも根性

山形県が米作り日本一

昨年の稲作は全面的な大豊作であったが、とくに山形県の収穫量はすばらしく、稲作史上最高の豊作...

は出稼きは出稼しません。本を讀まなければなりません」といふ。米作り日本一の言葉を...

「たんぼたんぼ」といふ。一月も米のころ、隣の町に住むS氏が、プラーとやっ...

「たんぼたんぼ」といふ。一月も米のころ、隣の町に住むS氏が、プラーとやっ...

「たんぼたんぼ」といふ。一月も米のころ、隣の町に住むS氏が、プラーとやっ...

「たんぼたんぼ」といふ。一月も米のころ、隣の町に住むS氏が、プラーとやっ...

熊川の鮭稚魚放流

3月13日

熊川漁業協同組合(組合長半谷重一さん)では去る3月13日、新築の孵化場で孵化した鮭の稚魚三〇万尾を放流した。

待望の肉用牛繁殖育成センターの建設

建設なる

事業開始は三月末 大熊町に待望の肉用牛繁殖センターが建設されることになったのは農林省が四十一年度から三年計画で、全国に...

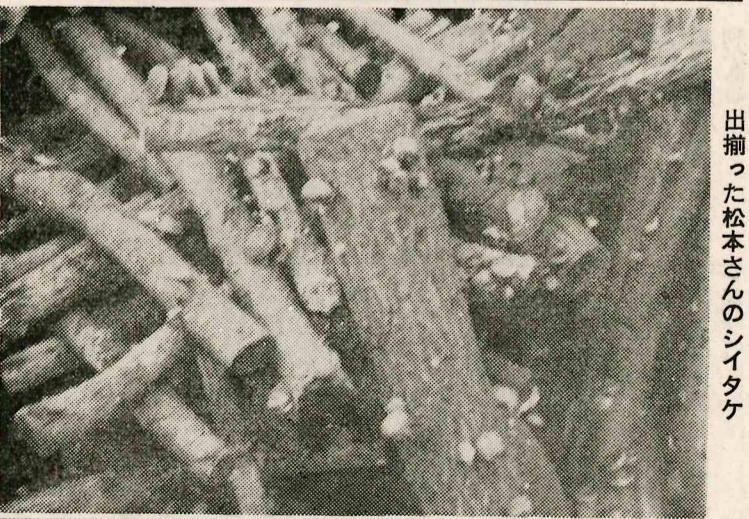
国県補助三分の二 町補助一五% 事業主体負担百円 その他

一、草地(四〇ヘクタール) 夫沢海岸八ヘクタール 大蔵谷地二〇〇 小良浜二〇〇

一、導入牛(八〇頭) 予算九六〇万円 一頭当り二二万円 一、導入費一〇万円

一、場所 夫沢大蔵谷地 一、施設 約八百万円

一、場所 夫沢大蔵谷地 一、施設 約八百万円



出揃った松本さんのシイタケ

繁殖センター落成式

3・27



昨今は一日一〇キログラムぐらゐの収穫があるので、これを金にすれば三千五百円の収入となる目標二万円の三分の一では一寸情ないけれど、副業の収入としては悪い方ではないと思ふ。

どうして原木を手に入れたかと聞かれるが、私の場合は友人武内実氏に植林するのだから伐採してくれといわれてくぬぎ、なら、くりなどを原木にしているが、くりは二年くらいでだめに成る。

大熊町で栽培されている方は、太田秀昂氏、渡部義綱氏、栃久保茂氏、木幡幸三氏、菅野忠道氏の方で、私などはまだ遠く及ばない。

販売方法は上手に

全手間がからず誰にも出来る販売方法が下手だと馬鹿をみる。俺は昨年たつた一人の業者に契約したので先方のいい値通りで任切られ買七拾円で買った人參を、車でK村に運んだだけで二倍から、三倍に売りさばかれていますと喜んで知り、馬鹿らしく感じた。

それが今年別の業者二人にしたところ、せり合つてよい値になり、前年の業者も割り込んで来たので結局三人の買手、おかげで今年はらくに反収拾万円というわけだ。

43年度消費者モニター 募集 福島県 県では消費者の意見や、要望を行政に反映させるためにモニターを募集中です。

新任の人々 大中校長 笠井小一郎氏 県双葉教育事務所社教主事 熊小校長 新妻熊次郎氏 県熊川用水改良事務所長 長沼さんが再度大野駐在所に赴任

四月の園芸 春まきの花 大ていの草花のたねは今月中にまく。しかし気温が高くなれば発芽しないため、あさがお、サルビア、オシキソウ等は五月になってからまいた方が安全である。

反収十万円 人参作りで 人參作りで 「たんぼたんぼ」といふ。一月も米のころ、隣の町に住むS氏が、プラーとやっ...

新春雑感

明治百年を迎えて

自然と歴史
政府に明治百年記念準備会がつけられて、1国土の緑化、2歴史の保存、顕彰、3青年の船を三本の柱とする記念事業の実施をうたったという。このうち「国土の緑化」としては、

全国の各家庭、学校、事業所、各種団体及び官公署などにおける記念植樹の勧奨。
大都市に記念森林公園、郊外に明治の森(自然公園)の建設整備の促進。
自然保護対策の強力な推進の三項目であり、

熊町婦人会総会を終る
熊町婦人会総会は三月三十日新装に輝く熊町小学校を会場に開催。町長、館長、小笠原熊中校長、吉田総務課長、河西大野婦会長等が来賓として出席した。

熊町婦人会総会を終る
熊町婦人会総会は三月三十日新装に輝く熊町小学校を会場に開催。町長、館長、小笠原熊中校長、吉田総務課長、河西大野婦会長等が来賓として出席した。

熊町婦人会総会を終る
熊町婦人会総会は三月三十日新装に輝く熊町小学校を会場に開催。町長、館長、小笠原熊中校長、吉田総務課長、河西大野婦会長等が来賓として出席した。

戊辰戦争

町史資料蒐集委員
軍事山
早速登城して平藩の軍勢を瀟々とした重砲門に貫きつづき報告しているところ、小名浜は早馬が駆けつけ、

「敵は軍治山(軍事山)の險を突破して谷川瀬村に進入中」との報告が、米沢藩の一角から白煙がたち

谷川瀬村に進出し、砲隊を村の丘下に配置して今や攻撃に移ろうとしていました。七月一日午前八時、西軍の砲隊は谷川瀬村に進出し、

大野婦人会総会
会長以下役員交代
加藤菊さん新会長に

北好間村にあった北境番所から、「ただ今、米沢藩の一ヶ大隊が応援のため番所付近に集結している」との報告が、

「敵は軍治山(軍事山)の險を突破して谷川瀬村に進入中」との報告が、米沢藩の一角から白煙がたち

米沢藩の一角から白煙がたち、新川以北の町の裏通り、東とかわり敵は一角から城

青年学級生募集公示
大熊町教育委員会
一、議決 三月十八日
二、名 称 大熊町青年学級
三、実施機関 大熊町公民館
四、開設期間 自四月一日起至四十四年三月



